

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	中枢運動伝導時間、複合筋活動電位、針筋電図を用いた頸椎症性筋萎縮症の予後予測		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2018年3月31日		
③ 対象患者	頸椎症性筋萎縮症で治療を行ったすべての患者さん		
④ 対象期間	1997年1月1日 ～ 2016年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	船場真裕	所属 整形外科
⑧ 使用する資料等	カルテ情報（画像所見、神経学的所見、電気生理学的所見のデータ）		
⑨ 研究の概要	<p>頸椎症性筋萎縮症に対しては、頸椎手術による比較的良い治療成績が報告されている。しかし、症例によっては手術しなくても治療成績が良好との報告もあります。</p> <p>頸椎症性筋萎縮症例の中には、手術しなくても治療成績が良好である患者さん、手術治療によって成績が良好となる患者さん、手術治療をしても成績が不良である患者さんが存在します。そのため、どのような患者さんに手術が必要か検討することに意義があります。目的は頸椎症性筋萎縮症の診断で治療を行った全症例を後ろ向きに検討し、治療成績を神経学的所見（深部腱反射、徒手筋力検査、知覚障害）、画像所見（Xp、脊髓造影後CT(computed tomography)、MRI(magnetic resonance imaging)と電気生理学的所見（中枢運動伝導時間(central motor conduction time:CMCT)、複合筋活動電位(compound muscle action potentials: CMAPs))を用いて、治療成績を検討することである。</p> <p>CMCTは尺骨神経支配の小指外転筋と正中神経支配の短母指外転筋から計測し、CMAPsは首の付け根から電気刺激し三角筋、上腕二頭筋、三頭筋、総指伸筋、小指外転筋、短母指外転筋、第1背側骨間筋から記録します。神経学的所見、画像所見、CMCTとCMAPs振幅から予後を判断します。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017年 3月 22日	
⑪ 研究計画書等の	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人		

閲覧等	情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	2018年頃に投稿論文として公表をします。		
⑬ 個人情報の保護	研究結果を公表する際には患者さん個人を特定できる情報は用いません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	奨学寄付金		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学 整形外科 船場真裕		
	電話	0836-22-2266	FAX 0836-22-2267